

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度		2024年度	開講キャンパス	宮崎キャンパス	開設学科	管理栄養学科				
科目名称	公衆栄養学実習					授業形態	実習			
科目コード	305200	単位数	1単位	配当学年	3	実務経験教員	○	アクティブラーニング	○	
担当教員名	長友 多恵子							ICT活用	○	
授業概要	<p>本授業の目的は、公衆栄養学Ⅰで学んだ知識をPDCAサイクルの中でどのように展開していくかについて、学生自身が考え解を見いだしていけるようにすることである。</p> <p>まず、健康・栄養問題の現状とその解決方法について、国民健康・栄養調査および健康日本21などの既存資料から問題点を抽出し、それらを改善するための計画を立て実施し、評価に基づいて改善を行い、再度、計画・実施・評価を行ってそれらの一連の流れをまとめる。次に、食生活指針や食事バランスガイドなど、わが国で実施されている健康・栄養施策について、管理栄養士としてそれらを推進していくためにはどのような方策を考案したらよいかについて、上記と同様の流れで学ぶ。さらに、災害時の食支援において管理栄養士ができることは何かについて、上記と同様の流れで学ぶ。</p> <p>また、実務経験担当教員として県庁・保健所・市町村の中で、管理栄養士がどのような業務を行っているかの事例を提示する。</p>									
関連する科目	履修前に、「公衆栄養学Ⅰ」「公衆衛生学」「健康管理概論」を受講しておくことが望ましい。 履修後は、「保健医療福祉システム論」を受講することが望ましい。									
授業の進め方と方法	個人やグループで課題に取り組み、発表を行うことを中心に実施します。また、関連の調理実習も行います。 授業資料の配付や課題提出の一部は、ユニバのクラスプロファイル上で行います。									
授業計画【第1回】	行政栄養士の業務（市町村における栄養士の役割）									
授業計画【第2回】	行政栄養士の業務（保健所における栄養士の役割）									
授業計画【第3回】	地域診断（既存資料を用いて地域の問題点を探る）									
授業計画【第4回】	健康・栄養問題の現状とその解決法（国民健康・栄養調査結果）									
授業計画【第5回】	健康・栄養問題の現状とその解決法（国民健康・栄養調査方式の実際1）									
授業計画【第6回】	健康・栄養問題の現状とその解決法（国民健康・栄養調査方式の実際2）									
授業計画【第7回】	健康・栄養問題の現状とその解決法（国民健康・栄養調査方式の実際1）									
授業計画【第8回】	健康・栄養問題の現状とその解決法（食事調査結果から考える改善案）									
授業計画【第9回】	健康・栄養問題の現状とその解決法（食事調査結果から考える改善案発表）									
授業計画【第10回】	健康・栄養問題の現状とその解決法（栄養成分表示・保健機能食品）									

授業計画 【第11回】	健康・栄養問題の現状とその解決法（食品表示等の普及案発表）
授業計画 【第12回】	災害時の食支援における管理栄養士の役割（災害食体験と必要な知識）
授業計画 【第13回】	災害時の食支援における管理栄養士の役割（災害時の献立作成）
授業計画 【第14回】	災害時の食支援における管理栄養士の役割（災害時の媒体作成）
授業計画 【第15回】	災害時の食支援における管理栄養士の役割（調理実習）
授業の到達目標	1. 健康・栄養関連の問題やニーズを、確かな情報収集・分析により適切に把握する。【知識・理解を応用し活用する能力の獲得】 【情報リテラシー（情報利活用力）・数量スキル・論理的思考の獲得】 2. それらの課題分析・アセスメントに基づく公衆栄養活動計画の作成・実施・評価・改善するための一連の知識や技能を習得する。 【問題解決力・問題発見力の獲得】
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1) / 2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1) / 2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)
授業時間外学習【予習】	スーパーやコンビニ等に出かけ、食品の価格、販売量、旬などをチェックする(3時間) 媒体作成に活用できるスキル（パワーポイント、静止画、動画等）について学ぶ(1時間) 評価のまとめに活用できるスキル（エクセル、ワード等）について学ぶ(1時間)
授業時間外学習【復習】	健康・栄養問題の現状について復習する(3時間) 我が国の健康・栄養施策について復習する(3時間) 災害時に適切な食支援を行うために必要なライフステージ別の栄養管理について復習する（4時間）
課題に対する フィードバック	レポートは評価をし、解説を行います。 プレゼンテーションと質疑応答や発表の中でのアドバイスをを行います。
評価方法・基準	以下の項目に基づいて評価します。 1) レポート取り組み状況40点 2) 発表40点 3) 授業態度等20点
テキスト	・公衆栄養学（南江堂）第8版 ・公衆栄養学実習第三版（同文書院）
参考書	・国民健康・栄養調査結果（厚生労働省） ・宮崎県県民健康・栄養調査結果（宮崎県） ・日本人の食事摂取基準（厚生労働省）
備考	